
■ 7. プロンプトの表示

● スクロール

◆ 主なキー操作

- ・↑ スクロールスタート 順方向 ※下から上(左から右)へ表示
- ・↓ スクロールスタート 逆方向 ※上から下(右から左)へ表示
- ・Ctrl + ↑ スクロールスピード加速
- ・Ctrl + ↓ スクロールスピード減速
- ・Ctrl + → 次のブロックの頭出し(次のブロックの先頭へジャンプ)
- ・Ctrl + ← 前のブロックの頭出し(前のブロックの先頭へジャンプ)
※ブロック内2枚目以降を表示時に操作した場合はブロック最初のカードへジャンプ
- ・スペース スクロールの一時的停止・再スタート
- ・ESC スクロールの一時的停止
- ・→ スクロール時の早送り(※このページ下部の◆早送りをご覧ください)
- ・← 早送りの減速(※このページ下部の◆早送りをご覧ください)
- ・F1-F10 緊急指示カード表示/非表示
- ・F11 A-COUNT 緊急指示カード表示/非表示(点滅表示)
- ・F12 D-EDIT 緊急指示カード表示/非表示(点滅表示)
- ・Ctrl + スペース ダイレクトパネル表示/非表示

◆ スクロールスピードについて

- ・スクロールスピードは121段階(値:8~128)で調整可能です。
※値8:最速~値128:最遅の設定です。
- ・現在のスピード設定は、ダイレクトパネル(p.22)で確認できます。
- ・話者や、内容、フォント設定によって最適なスピード設定が異なりますので、本番前にリハーサルを行い最適なスピードを設定して下さい。
下記の方法で、最大9種類のスピード設定をプリセット(記憶)、リコール(呼び出し)可能です。

<スクロールスピードのプリセット>

Ctrl + Shift + (1~9)

現在のスクロールスピードを数字キー(1~9)に記憶できます。

<プリセットスピードのリコール>

Shift + (1~9)

各数字キーにプリセットしたスクロールスピードに変更します。

◆ 早送り

- ・スクロール中に「→」キーで、現在のスクロール方向へ早送りが可能です。
早送りのスピードは6段階あり、キー操作の度に倍率が変わります。
「→」キー: 押す度に x4・x8・x16・x24・x36・x54 と加速
「←」キー: 押す度に一段階ずつ減速
「↑」キー: 早送りから元のスピードに戻す
早送りしたスクロールを停止する場合は、「スペース」キーを押してください。